

**KOSHIN**

**蓄圧式噴霧器**

**HS-Wシリーズ取扱説明書**

用途：家庭園芸用薬剤の噴霧

**安全上のご注意**

ここに示した注意事項は製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は次のように区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

- ⚠ 危険：人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される項目
- ⚠ 警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される項目
- ⚠ 注意：人が損害を負う可能性や物的損害の発生が想定される項目

**ご使用になる前に製品寿命お知らせラベルの上紙を必ずはがしてください**

**《上紙のはがし方》**  
 白い上紙だけをはがすと濃色ラベルが見えます。

はがす

**《ラベルの見方》**  
 1側の濃色ラベルの色が、2側の水色と同じ色になったら製品寿命です。

1と2の色の差が大きい → 1と2が同じ色になったら製品寿命です

紫外線劣化するとだんだんと1の色があせて薄い色になっていきます

**危険**

次の項目は、製品寿命の目安となります。製品に①②のどちらかの現象が見られる場合は、ただちに使用を中止してください。守らないと製品が破損しケガをするおそれがあります。

①製品寿命お知らせラベルの1と2が同じ色になったとき

②紫外線劣化によりタンクにクモの巣状の細かい亀裂が生じたとき

**警告**

改造は絶対にしないで下さい。故障や異常動作をし、ケガの原因となります。

噴霧器指定の薬剤以外や、強酸性・強アルカリ性の液体、可燃性の液体(ガソリン・灯油等)溶剤等は絶対に使用しないで下さい。タンクが破裂や爆発する恐れがあります。

**薬剤使用上のご注意**

**注意**

薬剤散布後はタンク内を洗浄後、清水を噴霧し、ノズルやホース内の薬剤も洗い流してから圧力を抜いて下さい。薬剤が残ると噴口やストレーナーが詰まったり劣化による故障の原因となります。

散布後はすみやかに圧力を抜いて下さい。加圧したまま長時間放置しますとタンクの早期劣化の原因となります。

薬剤の付属の説明書に従って下さい。

薬剤は適切な濃度でご使用下さい。濃度の高い薬剤は植物を傷め噴霧器故障の原因となります。  
 ※粉状・粒状の薬剤はそのまま使用できません。

散布の際は薬剤の付着や吸入を防ぐため、長そで・長スボンなど露出の少ない衣服およびマスク・めがね・手袋などを着用して下さい。

有機溶剤が多く含まれるトレフアノサイド・ゴーゴサン・スタム・DDVP等は使用できません。製品を変形させ、故障やタンク破損の原因となります。

園芸用のマシン油剤はお使いいただけます。工業油(ガソリン・灯油・潤滑油など)には使用できません。故障や破損の原因となります。石灰硫黄合剤は、ぬるま湯で溶かすと詰まりにくくなります。

**故障かな?と思ったら**

- ◎点検等で分解する場合は、必ずタンク内の圧力を先に抜いて下さい。
- ◎蓄圧式噴霧器は構造が簡単ですので、ほとんどの場合、お客様での修理が可能です。下記の「症状→原因→対策→処置」の手順でご確認下さい。処置後、症状が改善されない場合は、修理をご依頼下さい。※パッキン類は消耗品です。
- ◎修理をご依頼される際は、交換部品以外に、工賃・送料などが必要となりますのでご了承下さい。

症状	原因	対策	処置	
・噴霧しない ・霧の出が悪い	タンク内の圧力が上がる (安全弁レバーを引上げると「シュー」と音がする。)	噴口のつまり ストレーナーのつまり	洗浄する 洗浄する	処置A 処置B
	タンク内の圧力が上がらない	圧縮不足 吐出ホースの折れ ポンプの締め付け不足	安全弁が作動するまで再加圧する 折れを直す ポンプを締め付ける	処置C
	お買い上げ時、この部分にすき間(約1mm)がありますが問題ありません。液もれしない限り締めないでください。(関連:処置F)	ポンプ部Oリングの油切れ・膨潤・劣化 安全弁Oリングの油切れ・膨潤・劣化 吐出弁の膨潤・劣化・紛失 圧縮不足	注油又は交換する 注油又は交換する 交換する 安全弁が作動するまで再加圧する	処置C 処置D 処置E 処置F
・薬液がポンプ部から吹き出す ・各接続部より水もれ ・ノズル本体より液もれ		吐出弁の膨潤・劣化 ゆるみ・締め付け不足 ノズル内部の経年変化	交換する 締め付ける ノズル交換	処置E 処置F 処置G
・ノズルのレバーが重い		油切れ	注油する	処置G

Oリングには定期的に少量のシリコングリスを注油して下さい。油が切れると動作不良や水もれの原因となります。※注油は純正品のシリコングリス(PA-186)をご使用下さい。Oリング類、シリンダパッキン、吐出弁は純正品のHS-Wパッキンフルセット(PA-181)をご使用下さい。

**処置D 安全弁Oリングの注油 交換**

安全弁を取り外す際は、必ずキャップを回して下さい。レバー(T型)を回転させると故障の原因となります。

**処置E 吐出弁の交換**

ポンプ先端の吐出弁を手ではずして下さい。取り付ける際は隙間がなくなるまで手でしっかりと押さえて下さい。

※機種によって付属部品が異なります。下表を参考に付属部品をご確認下さい。

機種名	本体		ノズル	
	タンク本体・ホース・グリップ	伸縮2段2頭口ノズル(1頭口切替)	伸縮4段2頭口ノズル(1頭口切替)	
HS-503W	○	○	—	
HS-707W	○	—	○	

**仕様・性能**

機種名	規定容量	ノズル形式・全長/収縮長	ホース長さ	安全弁作動圧力	噴霧時間(※)		噴霧面積	用途
					1頭口	2頭口		
HS-503W	5L	伸縮2段2頭口(113.5/63cm)	5m	0.4MPa(4kgf/cm <sup>2</sup> )	約21分	約10分	約17~22坪	殺虫剤 防除用
HS-707W	7L	伸縮4段2頭口(201.0/63cm)			約31分	約15分	約24~30坪	

※噴霧時間は薬剤の種類によって異なります。

**お問い合わせ相談窓口** 【個人情報のお取り扱いについて】お客様の個人情報保護方針は、弊社ウェブサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

■ 製品・パーツの販売についてのお問い合わせは  
 購入店またはお近くの弊社製品取扱店にご相談ください。

■ 製品の修理に関するお問い合わせは.....工進修理受付窓口へ

電話 ☎ **0120-987-386** ダイレクト修理(※北海道・沖縄を除く)  
 平日: 9:00~17:00 保証期間経過後の修理などについてもご相談ください。

■ 製品に関するお問い合わせは.....お客様相談窓口へ

Q&A, Eメール Eメール [pump@koshin-ltd.co.jp](mailto:pump@koshin-ltd.co.jp)  
 お客様サポートページ 電話 ☎ **0120-075-540**  
 平日: 9:00~17:00

**株式会社 工進**  
 〒617-8511 京都府長岡京市神足上八ノ坪12  
<https://www.koshin-ltd.co.jp>

【問い合わせ受付時間について】  
 会社休業日・土日祝祭日を除きます。受付時間に変更がある場合は、弊社ウェブサイトにてご案内します。

・製品寿命お知らせラベルは、タンク内消耗品の寿命を保証するものではありません。  
 ・改良のため、予告なく仕様を変更する場合がございます。

**処置A 噴口の洗浄**

つまようじ等で穴のつまりを取り除いて下さい。

**処置B ストレーナーの洗浄**

ホースキャップをはずしストレーナーの網目部分のつまりを取り除いて下さい。

**処置F ノズル内部の経年変化**

すき間から液もれする場合は、もれない程度に軽く締めつけて下さい。締めすぎると割れるおそれがあります。

**処置G ノズル部Oリングの注油・交換**

Oリングには定期的に少量のシリコングリスを注油して下さい。

**処置C ポンプ部Oリングの注油・交換**

1.切替キャップを「速い」の位置に合わせてハンドルを上げ、ネジをゆるめてシリンダキャップをはずして下さい。

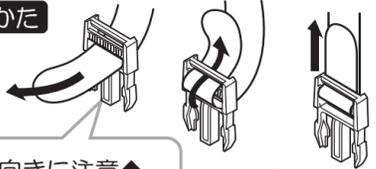
2.ピストンのネジをゆるめOリングに注油または交換して下さい。

シリンドパッキン P48A  
 シリンダキャップ  
 ネジ M3×10  
 グリス Oリング P36  
 グリス Oリング P24

**注意**  
 イラストに記載のあるネジ以外は外さないで下さい。故障の原因となります。

### ① 本体にベルトを取り付けます。

ベルトの通しかた

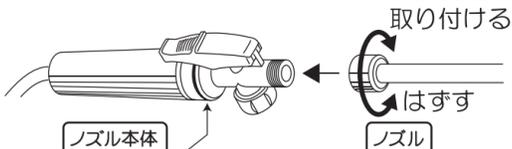


◆バックルの向きに注意◆  
ベルト取付の際、バックルの向きにご注意下さい。反対向きに通すとベルトは固定できません。

●ベルト取付部に差し込みます。折り返したベルトの端が外側に向くように取り付けて下さい。

ベルト取付部

### ② ノズルを組み立てます。

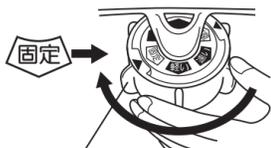


※すき間(約 1mm)を開けています(関連:本取説の裏面 処置F)

注意 接続部にはパッキンが付いています。必ずパッキンがあることを確認して下さい。また、液漏れがないようしっかりと締め付けて下さい。

### ③ ポンプをはずします。

1.切替キャップをまわし、▲印を固定の位置に合わせて下さい



切替キャップをまわす。  
ハンドルを回してはずす。(反時計回り)

2.ハンドルをまわしてポンプをはずして下さい。



### ④ タンクに薬剤を入れる。

●別の容器で薬剤を充分溶かしてからタンクに入れて下さい。

◆よく溶かす◆  
特に粉の薬剤は粉が無くなるまで充分溶かして下さい。

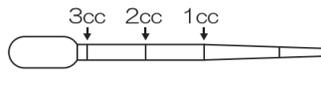


※容器は付属しておりません。

注意 前回使用した薬剤が残っていないか確認して下さい。化学反応を起こし、有毒ガスが発生する危険があります。

注意 薬剤は規定量以上入れないで下さい。それ以上入れると噴霧時間が短くなります。(規定容量 5Lタンク:5の目盛り 7Lタンク:7の目盛り)

水(L)	薬剤(cc) (cc = g = mL)		
	500倍にうすめるとき	1,000倍にうすめるとき	2,000倍にうすめるとき
1L	2cc	1cc	0.5cc
4L	8cc	4cc	2cc
5L	10cc	5cc	2.5cc
7L	14cc	7cc	3.5cc



●スポイトの目盛りの単位はccです。(cc = g = mL)

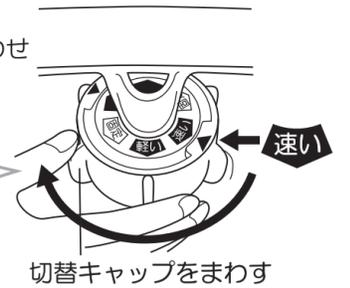
### ⑤ ポンプを取り付け、加圧します。

警告 ノズルスタンドにノズルを立てたまま加圧しないで下さい。けがの原因となります。

注意 ノズルレバーが噴霧状態になっていないかを確認してから加圧して下さい。(誤噴霧防止のため)

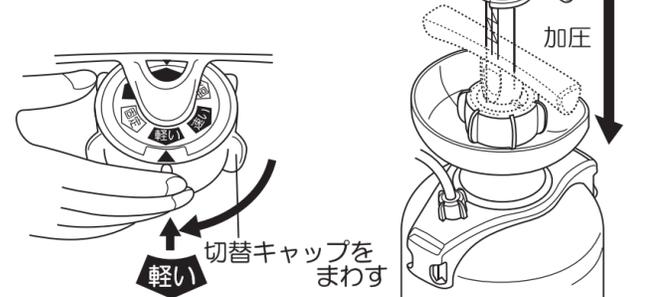
1.ポンプをタンクに取り付けて下さい。

2.切替キャップをまわし、▲印を速いの位置に合わせて下さい。ハンドルを上下させるとタンク内が加圧されます。



◆切替時の注意◆  
キャップの切替はハンドルを最も下げた状態で行って下さい。

3.加圧が重くなれば切替キャップをまわし、▲印を軽いの位置に合わせて下さい。軽い力で加圧できます。



◆加圧の目安◆  
安全弁に付いている目盛りがタンク内の圧力を示しています。タンクに薬液を規定容量入れた時は、目盛りが「4」(=0.4MPa)を示すまで加圧して下さい。タンクに入れる薬液が少ない場合は「4」(=0.4MPa)まで加圧する必要はありません。液量に応じて加圧して下さい。(目盛りが「1」(=0.1MPa)以上であれば適正な噴霧が行えます。)



安全弁の目盛りは目安です。正確な圧力計ではありません。作動しない時は、一度軽く手で引っ張って下さい。

4.噴霧適正圧力になり安全弁から「シュー」という音が聞こえたら加圧をやめて下さい。

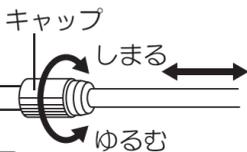
◆安全弁◆  
加圧しすぎによる噴霧器の故障を防止するため安全弁が付いており適正圧力になると自動的に圧力が逃げます。

5.加圧後、ハンドルはロックして下さい。

### ⑥ 散布する。

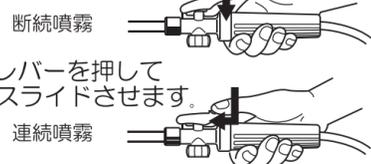
1.ノズルの長さを調整します。ノズル長さの調整方法

●調節後はキャップをしっかり締め付けて下さい。



2.散布をします。

レバーの操作方法



断続噴霧  
連続噴霧

霧の調整方法



広範囲に散布するとき  
遠くへとばすとき

1.頭口への切り替え方法

●コックを締めると1頭口として使用できます。コック

注意 液漏れの原因となりますので、コックを締め切った状態から1回転以上緩めないで下さい。

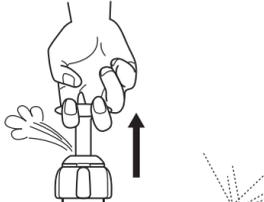
3.霧の勢いが弱くなれば再び加圧して下さい。

注意 ○ノズルスタンドにノズルを立てる際、誤ってレバーに触れ誤噴霧しないようご注意下さい。  
○余った薬液をタンクに入れたまま長時間放置しないで下さい。各部品が傷み、製品寿命が短くなります。

### ⑦ 使用後はタンクの圧力を抜く。

●散布が終われば安全弁レバーを引き、「シュー」と音がしなくなるまで圧力を抜いて下さい。

注意 ○タンク内を加圧したまま放置しないで下さい。破裂や故障の原因となります。  
○ポンプやキャップをはずす際、必ず先に圧力を抜いて下さい。けがの原因となります。



### ⑧ きれいに洗い、箱に入れて保管する。

●使用後はすぐにきれいな水でタンク内の薬液を洗い流して下さい。  
●きれいな水をタンクに少量入れて数回噴霧し、約60秒噴射してノズルやホース内に残った薬液も洗い流して下さい。  
●保管時はタンクキャップを緩めておいて下さい。締め付けによる応力割れを防ぎます。

注意 ○薬液が残るとノズル内で固まり、故障の原因となります。  
○使用後は箱に入れるなど直射日光の当たらない場所で保管して下さい。直射日光は早く製品を劣化させ、加圧時破裂の原因となります。



パーツは、必ず指定のものをご使用ください。パーツは購入店または弊社製品お取扱店を通じてご注文いただけます。弊社ウェブサイトにてパーツ表、価格をご覧いただけます。

ご注文時のごお願い

部品番号(7~9桁)または機種名・JAN、名称、必要な個数を正しくお伝えください。

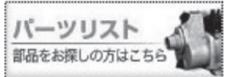
パーツ表・単価

https://www.koshin-ltd.co.jpにアクセス▶



■ パーツリスト

トップページの「パーツリスト」バナーをクリック▶



### HSシリーズ用オプションパーツ(ノズル・パイプ)

HSシリーズは全機種ノズル・パイプに互換性があり、取り替えも容易です。

機種名	名称	ノズル長さ	JAN
PA-169	1段1頭口ノズル組	38cm	4971770-400634
PA-197	2段1頭口ノズル組	最長 113.5cm~収納時 63cm	4971770-401310
PA-170	2段2頭口ノズル組		4971770-402171
PA-171	4段2頭口ノズル組	最長 201cm~収納時 63cm	4971770-402980
PA-106	泡状除草ノズル組		4971770-101876
PA-107	粒状除草ノズル組	38cm	4971770-101883
PA-168	延長パイプ	37cm	4971770-402447

(ご注意)薬害を防ぐため、噴霧器本体は消毒と除草の兼用使用はしないでください。

### 保証書

レシート(販売証明書)と共に保管してください

機種	蓄圧式噴霧器 HS-Wシリーズ	※お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日より1年間	※購入店	〒
お客様	※お名前	住所	店名
	※ご住所		
	電話 ( )		電話 ( )

※記入のない場合は無効になりますので必ずご確認ください。

(ロ) お買い上げ後の落下、運送等による故障または損傷。  
(ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他天災地変、公害、指定外の使用(電圧、周波数、使用液、使用燃料など)や、使用環境要因による故障または損傷。  
(ニ) 取扱説明書に記載の用途以外の目的の使用による故障または損傷。  
(ホ) 本書の提示がない場合、または本書にお客様名、お買い上げ年月日・購入店名の記入またはレシート(販売証明書)の添付がない場合。  
(ヘ) 本書の字句を書き換えられた場合、また中古販売にて購入した場合。  
(ト) 同梱付属品、消耗品の交換。  
(チ) 車両、船舶などへの取り付けや外部要因による故障または損傷(船舶への取り付けは弊社指定船舶用製品を除く)。  
2. 保証期間内でも次のものは修理および補償いたしません。  
(イ) 不適切な使用、改造、取扱説明書に記載されている保守・点検以外の分解や修理、弊社指定の純正パーツ以外を使用したことによる故障または損傷、日常点検やお手入れ、整備を怠ったことによる生じた不具合。  
(ロ) お買い上げ後の落下、運送等による故障または損傷。  
(ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他天災地変、公害、指定外の使用(電圧、周波数、使用液、使用燃料など)や、使用環境要因による故障または損傷。  
(ニ) 取扱説明書に記載の用途以外の目的の使用による故障または損傷。  
(ホ) 本書の提示がない場合、または本書にお客様名、お買い上げ年月日・購入店名の記入またはレシート(販売証明書)の添付がない場合。  
(ヘ) 本書の字句を書き換えられた場合、また中古販売にて購入した場合。  
(ト) 同梱付属品、消耗品の交換。  
(チ) 車両、船舶などへの取り付けや外部要因による故障または損傷(船舶への取り付けは弊社指定船舶用製品を除く)。  
2. 保証期間内でも次のものは修理および補償いたしません。  
(イ) 機能に影響のない感覚的現象(音、振動、操作感など)や使用消耗および部品寿命による不具合。  
3. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。  
4. 出張修理は対応いたしません。  
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外での購入ならびに使用については一切責任を負いません。This warranty is valid only in Japan, also not covered for overseas purchase and use.  
6. 弊社の判断により、修理に代えて同機種との交換、または同等性能を有する他機種への交換となる場合があります。

株式会社 工進 京都府長岡京市神足上八ノ坪12  
レシート(販売証明書)貼付位置